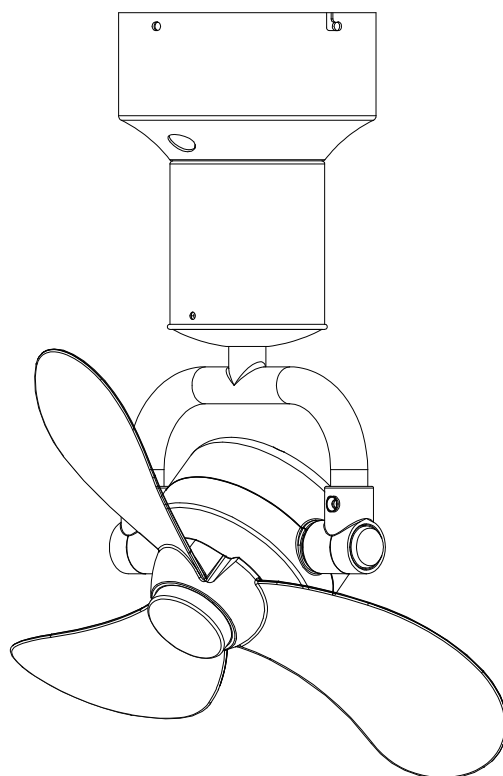


3D CEILING FAN

取扱説明書



この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。お客様の安全と、当製品を末永くご利用頂く為、ご使用前にこの取扱説明書を必ずご覧になり、よくご理解いただいた上で正しくご使用ください。また、この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

天井の強度をご確認ください。

天井の補強工事が必要な場合がございます。本取扱説明書をよくご確認ください。

廃棄する場合

本製品を使わなくなり廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミの廃棄方法に従ってください。

■はじめに

この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。お客様の安全と、当製品を末永くご利用頂く為、ご使用前にこの取扱説明書を必ずご覧になり、よくご理解いただいた上で正しくご使用下さい。

SAFETY INFORMATION

この取扱説明書のマークについて

-  **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が生じる事が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物質的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  このマークは、してはいけないことを表わしています。
-  このマークは、気をつける必要があることを表わしています。

製品仕様

- 屋内専用器具
- 天井直付、簡易取付型
- 消費電力 50Hz/10.6W 60Hz/10.2W
- 風速 (OFF→1→2→3→4→5)
- 調光器との併用不可
- 傾斜天井、舟形天井への設置不可
- 竿縁天井、格子型天井への設置不可

標準的な使用時間

当製品の設計上の標準使用期間は10年です。

製造年は本体に記載しております。

標準使用期間を超えてご使用される場合、熱、湿気、ほこり等の影響により、部品の劣化、天井部分の歪み等を原因とし、様々な不具合、発煙、発火にいたる場合がございますので、以下の様な症状がある場合は特に注意し、ご使用を見合わせてください。

- 1.リモコンを操作してもファンが回転しない。
- 2.ファンの回転数が以上に遅い又は不規則である。
- 3.運転時のモーター音が異常に大きくなった。
- 4.モーター部分が異常に熱い。
- 5.異臭がする。
- 6.製品が異常に揺れるようになった。

標準使用期間は以下の条件を元に設定されています。
((社)日本電気工業会自主基準HD-116-3)

電圧	: 100V
周波数	: 50Hz/60Hz
温度	: 30℃
湿度	: 65%
設置	: 取扱説明書に則した設置
負荷	: 製品の企画に順ずる
運転時間	: 10時間/日
運転回数	: 5回/日
運転日数	: 180日/年

※設計上の標準使用期間は製品の寿命目安です。

保証期間とは異なりますので予めご了承ください。

標準使用期間内であっても使用諸条件の相違により異常が発生した場合は、速やかに電源を切りご使用を控えてください。

 警告	
	器具を取り付ける天井の強度を確認し、重量に耐える場所に確実に行ってください。強度が不足している場合は補強工事をしてから取付けてください。 ■ 器具落下によるケガの原因になります。■
	器具を布や紙、アルミ箔等で覆って使用しないでください。 ■ 火災、焼損、過熱、故障、変形の原因になります。■
	稼働中及び稼働直後は器具が高温になっていますので素手で触らないでください。 ■ やけどの原因になります。■
	この器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場所、屋外（風呂場、テラス等）ではご使用になれません。 ■ 火災、感電、絶縁不良の原因になります。■
	器具のそばにストーブ等高温になるものを置かないでください。また燃えやすいもの（カーテン等）の近くで使用しないでください。 ■ 火災、焼損、過熱、故障、変形の原因になります。■
	器具のすき間に異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。 ■ 火災、感電、絶縁不良の原因になります。■

 注意	
	電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁じられています。
	シェードの着脱、取付けは両手で静かに扱い、確実に行ってください。
	器具に注意シールが貼付されている場合はその指示に従ってください。
	電源コードを無理に引っばったり、ねじったり曲げたりしないでください。
	器具に着色等をしないでください。
	器具を無理に回転させたり、引っばったり、振動や衝撃を加えないでください。
	器具を改造したり部品を追加、変更して使用しないでください。
	器具から煙が出たり変な臭いがしたときは速やかに電源を切って販売店もしくは弊社までご相談ください。
	ご使用後、廃棄される場合は清掃回収者への安全面に充分配慮して処理していただきますようお願いいたします。

〈お手入れ方法〉

- 必ず電源を切ってから行ってください。
- 安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃、点検を行い、接合部のゆるみ及び器具に損傷がないかを確認してください。異常がありましたら使用せずに販売店、電気店にご相談ください。
- 器具が汚れた場合は柔らかい布、または中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから軽く拭き取ってください。
- シンナーやベンジン等揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたらないでください。変質、故障の原因になります。
- 器具を丸ごと水洗いしないでください。感電、焼損、サビの原因になります。

●天井の配線器具を確認してください。



いずれの器具もついていない場合は、電気工事に依頼して取付けてください。



注意

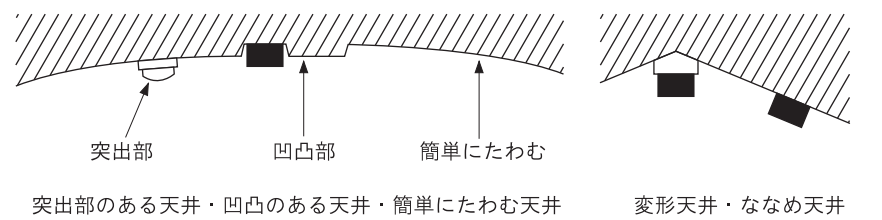


角型引掛シーリング 丸型引掛シーリング

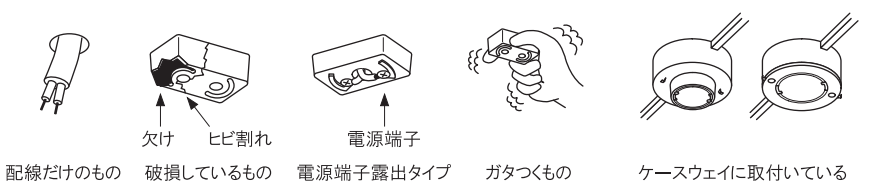
このタイプの引掛シーリングでは、本体を固定する為に天井に木ねじを打ち付けます。取り付けの際は天井補強工事が必要な可能性がございます。取扱説明書 P5[補強について]をご確認ください。

取付けできない天井

※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



下図の場合は電気工事店にご相談ください。



電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取付けしないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

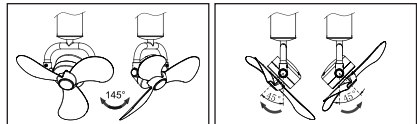
- ファンが回転している間は、羽根に絶対に触れないでください。ケガの恐れがあります。
- 羽根を回転させるためモーターを使用しておりますので、若干の音は発生しますが異常ではありません。ご使用中に異常振動や異常音が発生したらただちに使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 壁付調光器のある回路では使用しないでください。
- ご使用の初期にはモーターの熱により焼けたような臭いがしますが、異常ではありません。
- 器具の取付位置は下図の寸法を参考に取付けてください。下図の寸法以下で取付けると器具の振動の原因になる場合があります。

シーリングファンの操作方法 (リモコン)

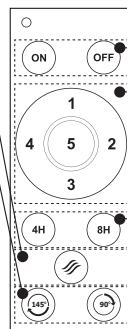
リズム風機能

一定のパターンで風量を切替え、自然の風に近い風を送ります。

ファンの角度方向の切替



145° ボタンを1回押すと左右方向に本体(モーター部)が回転します。もう一度押すと止まります。
90° ボタンを1回押すと上下方向に本体(モーター部)が回転します。もう一度押すと止まります。
145° ボタンと90° ボタンを押すと本体(モーター部)が上下左右に回転し、空気循環を広範囲に広げることができます。



ファンの ON/OFF

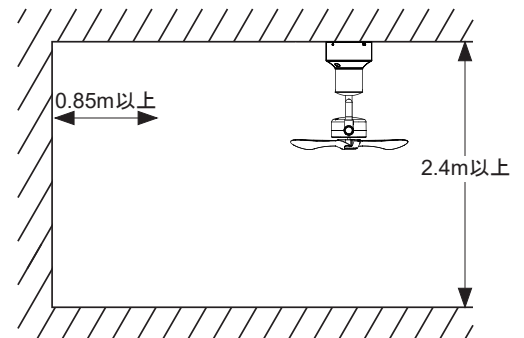
ONを押すとファンが動きます。OFFを押すとファンが止まります。OFFにしても遠心力が加わっているため、すぐには止まりません。

ファンの回転速度の切替

1～5段階の回転速度の切替ができます。

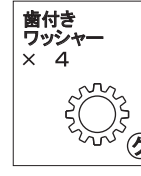
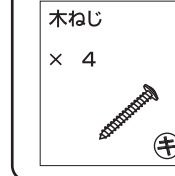
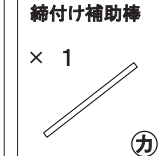
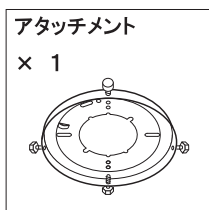
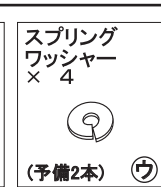
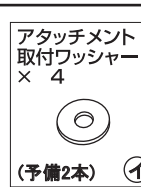
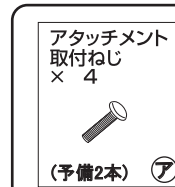
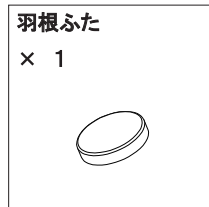
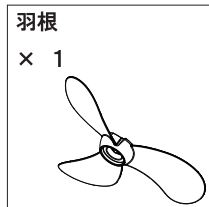
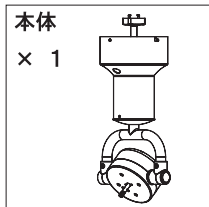
OFF タイマー機能

4H ボタンを押すと4時間後に稼働が停止します。8H ボタンを押すと8時間後に稼働が停止します。



部品一覧

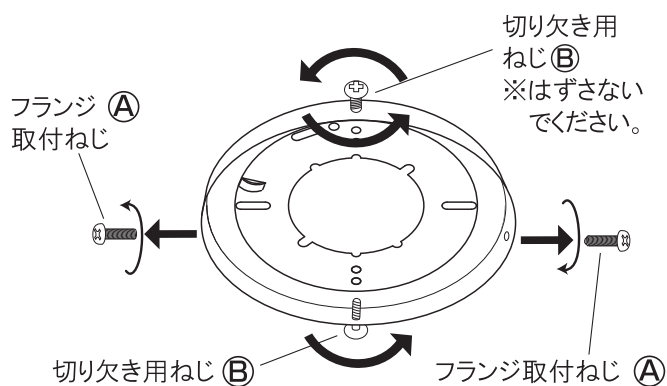
※ねじ、ワッシャー類は、 で囲まれた内容でひとつのビニール袋に梱包されています。



アタッチメントの取付け

1 取付ける前に

アタッチメントのフランジ取付ねじ①(2ヶ所)をいったんはずしてください。(※後で使用します。)
切り欠き用ねじ②(2ヶ所)はそのままゆるめてください。



●ブレーカーを必ず切ってください。感電の原因になることがあります。●取付け作業は安全確保の為、必ず2人以上で行ってください。

2 アタッチメントを配線器具に取付けてください。

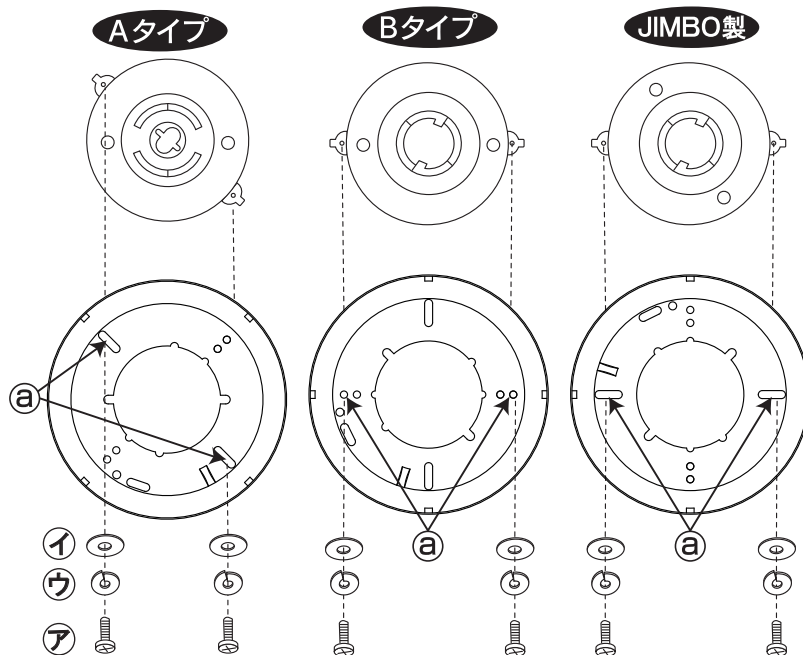
これらの配線器具の場合はドライバー (+)
1本で簡単に取付けが出来ます。
(なるべく大きめのドライバーをご使用ください。)

2

アタッチメント取付ねじ ③ を下図アタッチメントの ④ の穴を通し、ローゼットの外側ねじ穴にねじ止めします。
(アタッチメント取付ワッシャー ⑤、スプリングワッシャー ⑥をはさんでください)

①

ではずしたローゼットのねじは無くさないよう保管してください。
③のねじでアタッチメントがうまく止まらない場合はローゼットのねじでのねじ止めを試してください。

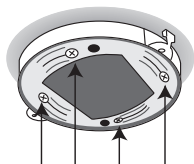
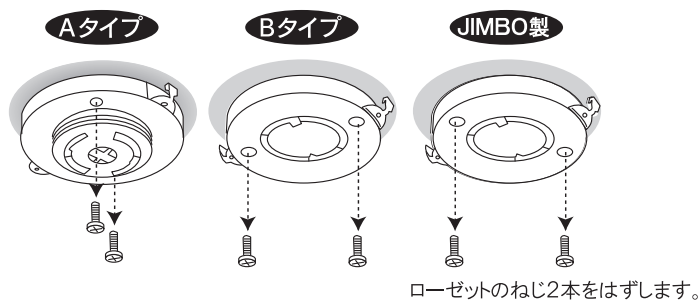


●埋込ローゼットの場合



1

まず、ローゼットについているねじ2本をはずします。



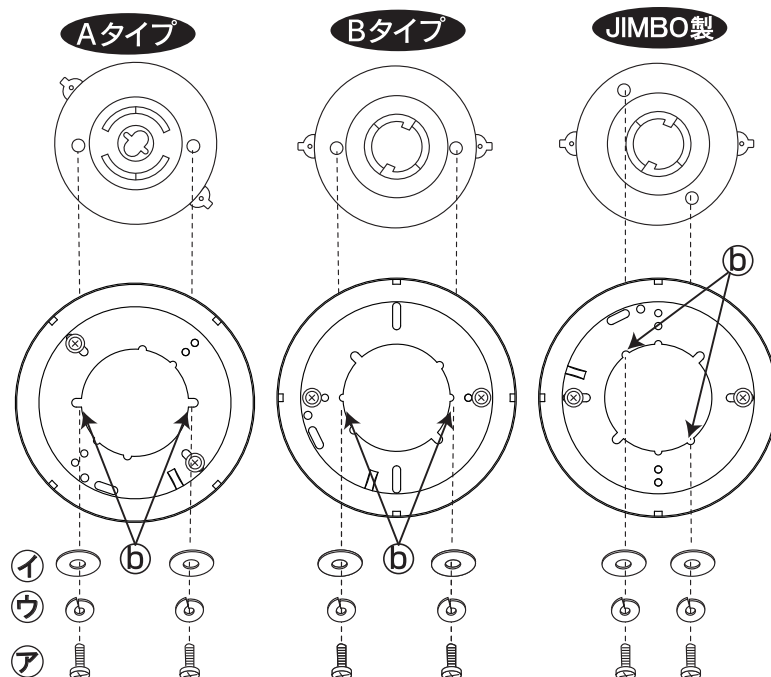
①の作業の後、一度ローゼットのふたを開け、ローゼットの金具を天井に止めているねじがしっかり締まっていることを確認してください。ねじがゆるい場合はしっかり締め直してください。確認後は再度ふたを閉めてから②以降の作業を行ってください。

注

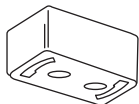
Bタイプの埋込ローゼットでも Aタイプ とネジ穴位置が同じものは Aタイプ の取付方法で取り付けてください。

3

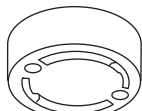
アタッチメント取付ねじ ③ をアタッチメントの下図 ⑦ の半円穴を通し、①ではずしたローゼットのねじ穴にねじ止めします。
(アタッチメント取付ワッシャー ⑤、スプリングワッシャー ⑥をはさんでください)



これらの配線器具の場合は天井に穴を開けなければ取付けが出来ません。



角型引掛シーリング



丸型引掛シーリング

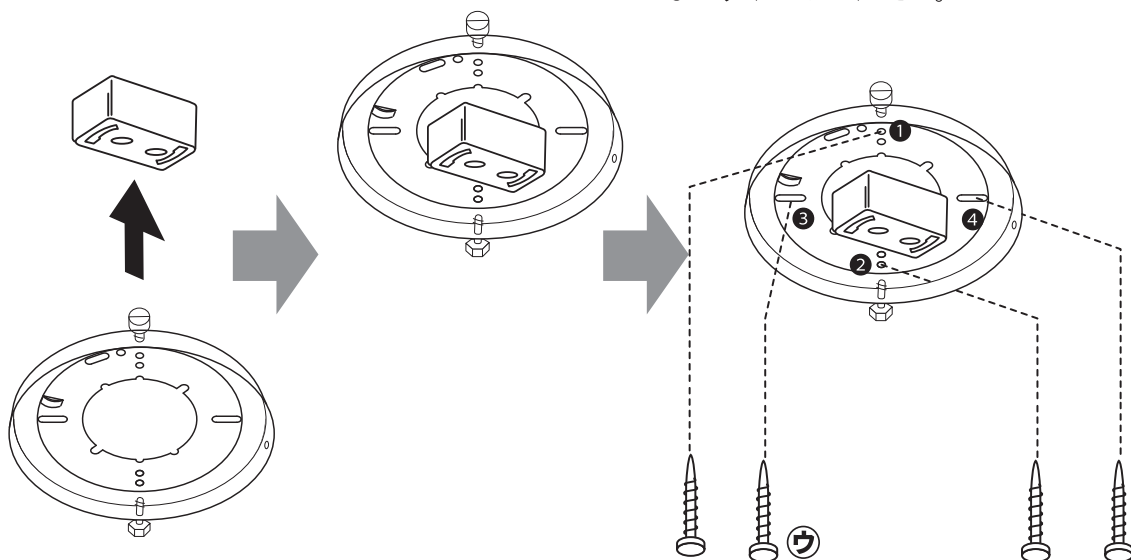


丸型引掛シーリング

木ねじを使用する場合は、天井側の材質（石こうボードは不可）や受け木の有無などを確認してください。

- ① 引掛シーリングをアタッチメントの内穴に通します。

- ② 木ねじ⑦を使い、天井に直接ねじ止めします。
①②③④のように対角線の順番にしっかりとまっすぐ止めてください。



※説明図は角型引掛シーリングですが丸型も同じ要領で取付けてください。

①補強について

実際に取付けてみてグラついたりして不安定な場合は木ねじで補強をしてください。

- 埋込ローゼットの場合は、ローゼットねじのすぐ横の穴に対角線上に木ねじを取付けてください。
- シーリングの場合は、最初に取り付けた木ねじのすぐ横の穴に対角線上に木ねじを取付けてください。

※天井の補強材部が十字に設置されている場合はローゼットや最初の木ねじに対して十字になるように木ねじで補強するとより安定します。

※どちらの場合も天井の補強材部があることを確認した上で木ねじを取付けてください。

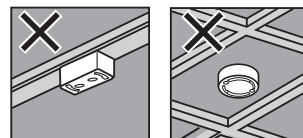
- 木ねじがすぐに抜けてしまうような天井には使えません。
・石こうボード・薄い板だけの天井に配線器具が取り付けられている場合。
- 木ねじを取付けて強く締めつけても空回りする場合は、補強材部に固定されていけませんので必ず補強材部に固定するようにしてください。
- 埋込ローゼットは基本的に天井の補強材部に取付けてあります。ローゼットの平行線上に木ねじを取付けると固定できます。

※必ず強度のある天井に取付けてください。

※図のような天井には取付けないでください。
また傾斜天井や湾曲天井への取付けも出来ません。

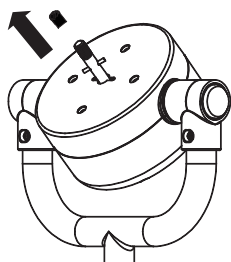


※天井の補強工事が必要です。

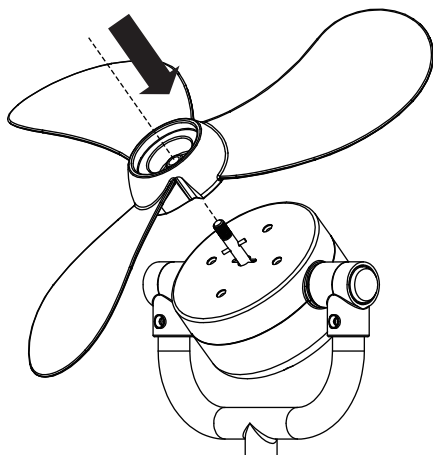


1 羽根を取付けます。

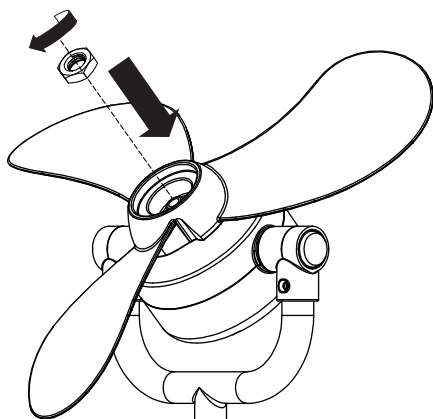
1 本体中心から出ているねじ保護キャップを外してください。



2 本体中心から出ているねじに羽根を取付けてください。ネジ側の側面から出ている棒と羽根側にある溝をしっかりと合わせてください。



3 本体中心から出ているねじに羽根固定用ナット (E) を締め込んで取付けます。

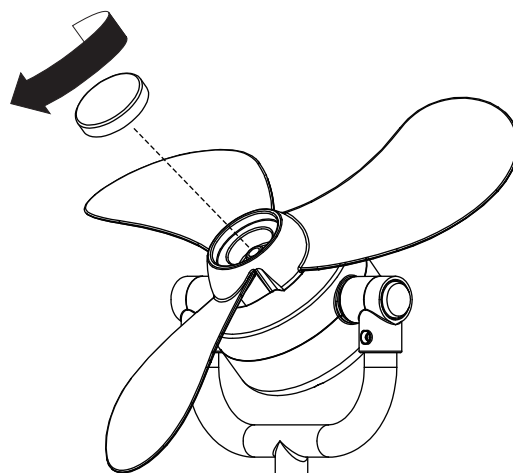


4 ナット締付け用治具 (A) と締付け補助棒 (B) を組み合わせて羽根固定用ナット (E) をしっかりと固定してください。



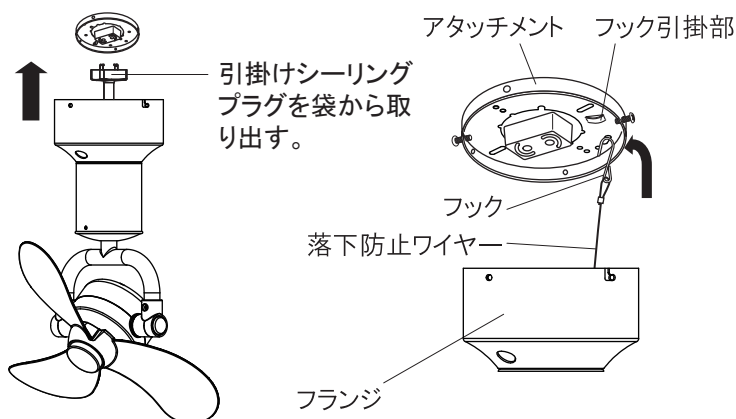
羽根中心部に手を添えて
利き手で締付け補助棒 (B)
を時計回しに回すと締付け
が容易におこなえます。

5 羽根ふたをねじに時計回しでしっかりと固定します。



2 落下防止ワイヤーをアタッチメントに取付けます。

本体上部のフランジ内にある落下帽子ワイヤーのフックを
アタッチメントのフック引掛部に引っ掛けます。
ここからは、羽根の取り扱いに十分に注意してください。

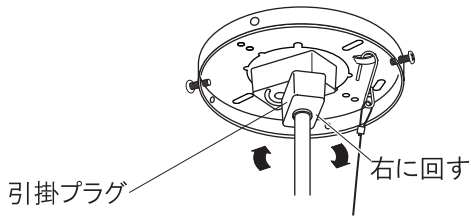


※この段階で仮固定ができた状態にはなりますが、
手を離さないでください。落下の危険があります。

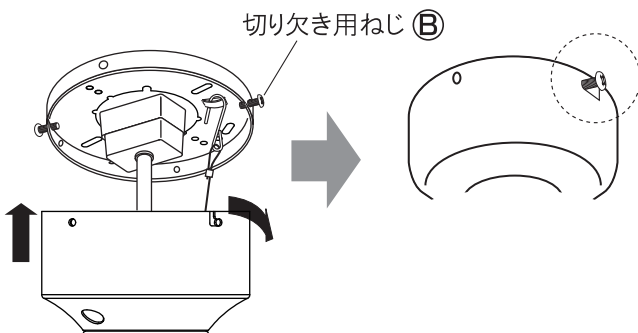
3 引掛プラグを取付けます。

本製品を取付けるお部屋の壁面スイッチを OFF にしてください。

1 引掛けシーリングプラグを右に回して固定してください。

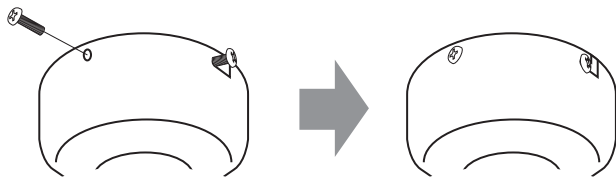


2 フランジの切り欠きをアタッチメントの切り欠き用ねじ ③ に差し込み、右に回してはめてください。



4 フランジを取付けます。

外しておいたフランジ取付けねじ ④ (2カ所) をフランジの穴に合わせて締め込みます。



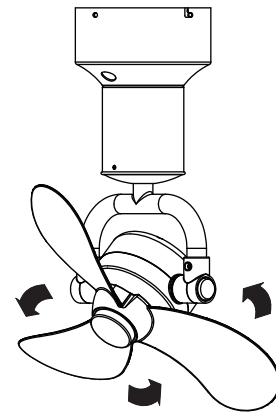
4本のねじをしっかりと右に回して固定してください。

5 スイッチをいれ、リモコン操作を確認します。

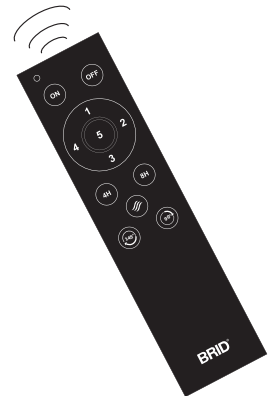
お部屋の壁面スイッチを ON にして リモコン操作を行い、FAN の回転を確認してください。

【ご注意ください】

壁面スイッチを [ON] にした状態で、リモコン操作をしてください。壁面スイッチが [OFF] の状態ではご使用いただけません。



壁面スイッチを [ON] にする。



落下防止の為、各パーツが確実に接続されているか再度点検の上ご使用ください。